

手取川河川改修事業

急流河川対策

・ 手取川の河川整備の目標

－ 洪水による災害の防止・軽減

- ・ 築堤 ・ 樹木伐採 ・ 低水護岸 ・ 河床掘削

・ 急流河川対策(前腹付・根継工)

- ・ 土砂動態の調査・研究(モニタリング・試験施工等の実施)

- ・ 河川情報の提供

- ・ ハザードマップの作成支援

- ・ 洪水等に備えた予防的対応

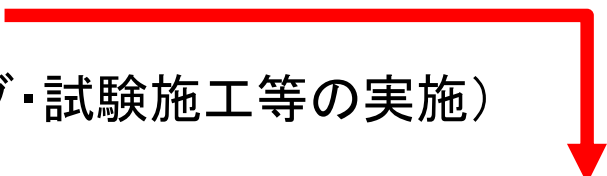
- ・ 防災意識向上の為の広報

- ・ 霞堤の機能維持

- ・ 河川管理施設の適性管理 ・ 堆砂対策

－ 河川の適正な利用と流水の正常な機能

－ 河川環境の整備と保全



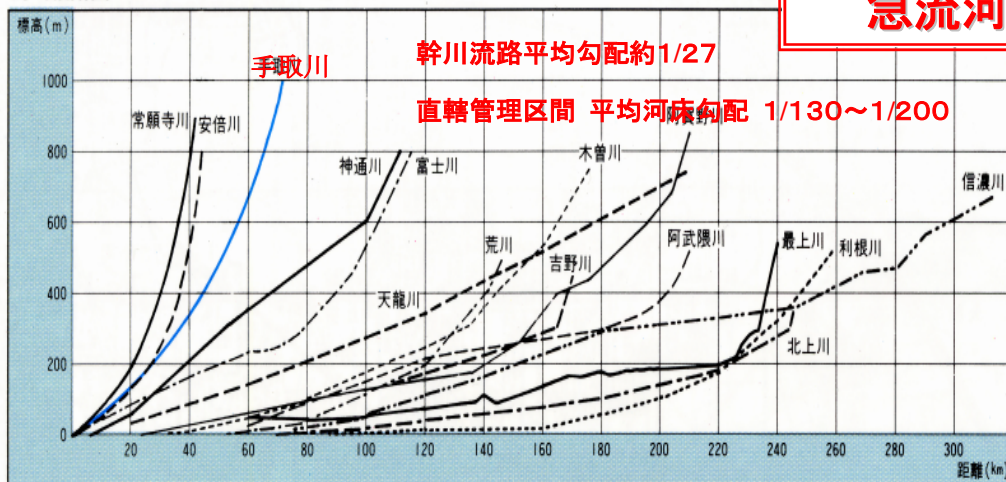
急流河川であることを踏まえ洪水特有の強いエネルギーに対する堤防の安全性を確保するため、特に危険な区間について質的整備を進め、氾濫被害の防止を図る。

◆ 事業の概要(平成20年度)

手取川は、流域の9割を山地が占め、水源から河口までの平均勾配が約27分の1という我が国有数の急流河川である。急流河川の特徴から、洪水時の流水は非常に大きなエネルギーを保持しており、これまでも幾度となく護岸が流失するなど、大きな被害をもたらしてきた。このため、急流河川の洪水エネルギーに対して、局所的な洗掘・侵食から堤防を保護するため、「急流河川対策(腹付け盛土)」を整備。



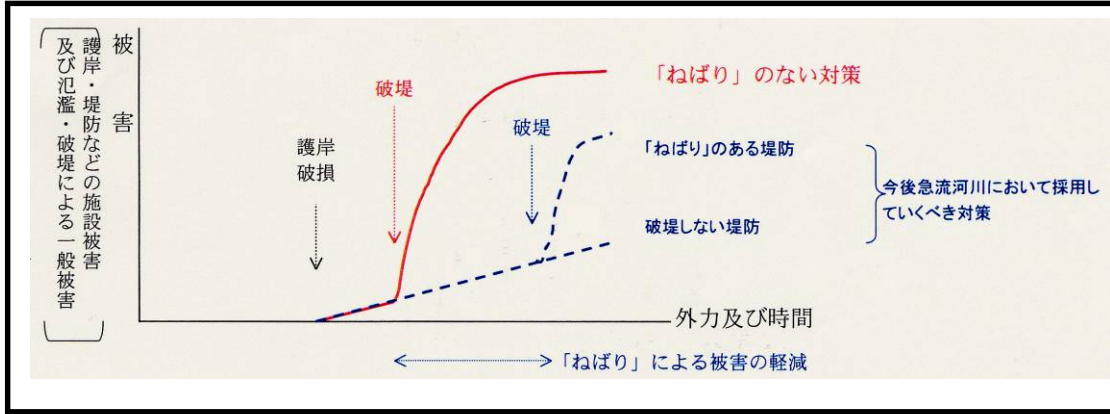
河川縦断面図



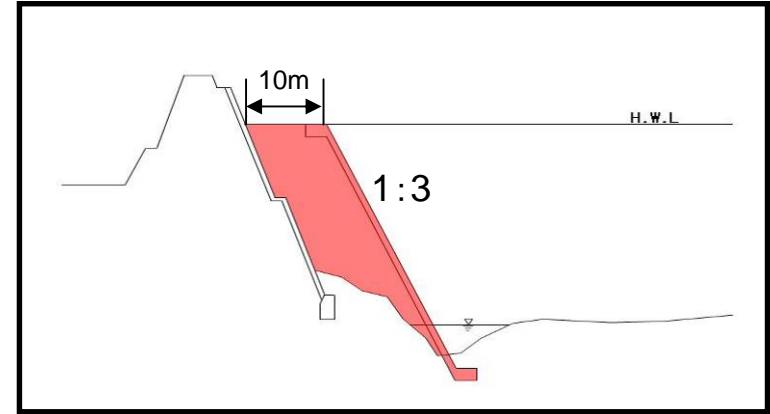
急流河川対策(前腹付工)



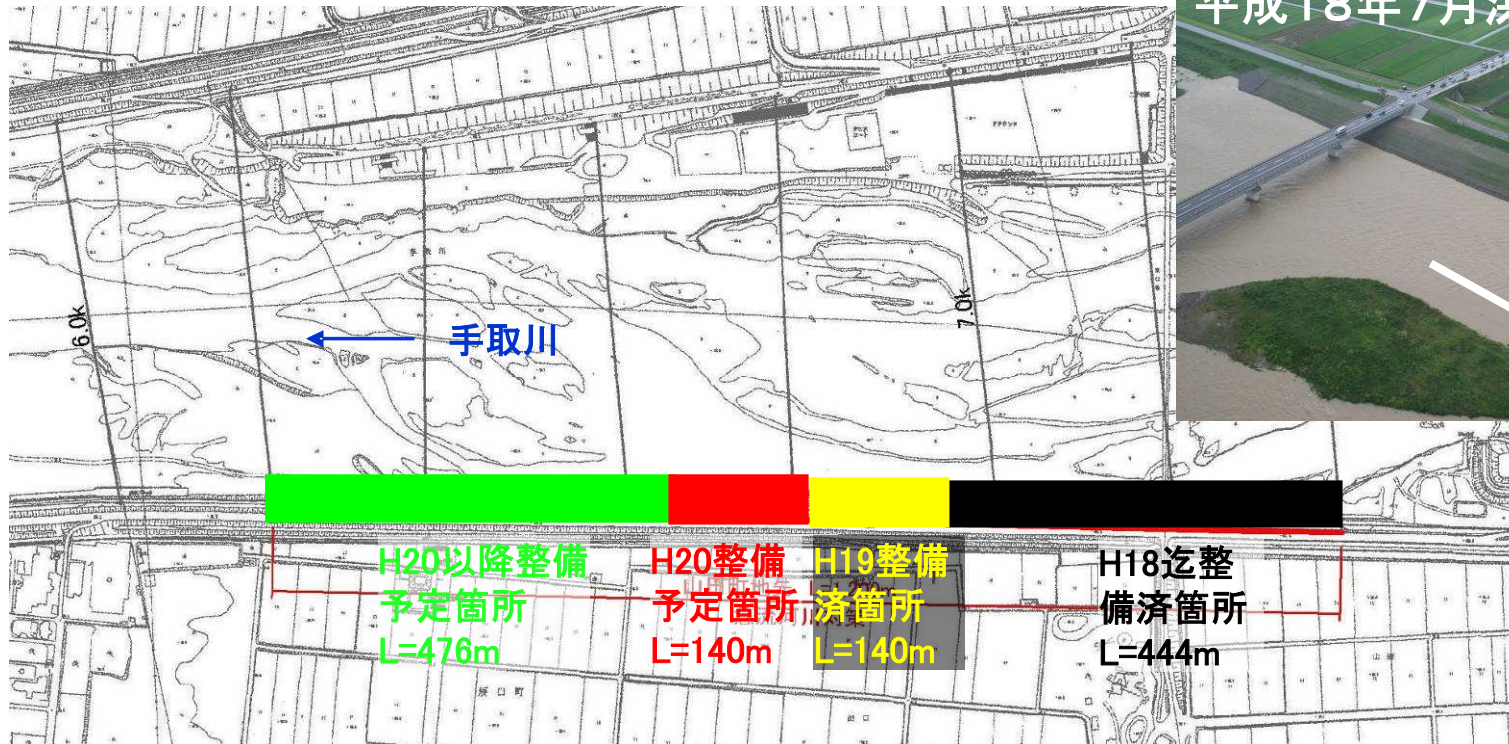
急流河川対策の目的



急流河川対策イメージ



前腹付工によって破堤までの時間を稼ぐ！



黄色
: H19 施工箇所
赤字
: H20 施工箇所